

資料 1

# 行田市水道事業ビジョンの 策定について

ぎょうだの水道 みんなであゆみ 未来につなぐ

## 行田市水道事業ビジョンの構成（案）

第1章 策定にあたって

第2章 水道事業の概要

第3章 水道事業の現状と課題

第4章 基本理念と理想像

第5章 理想像実現のための施策

第6章 フォローアップ

# 第1章 策定にあたって

## 1. 水道事業ビジョンの目的

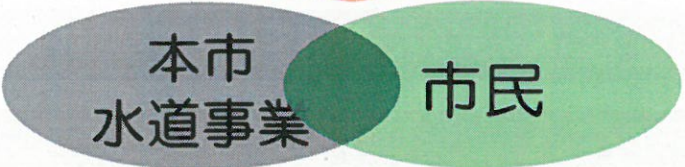
- 50年先100年先を見据えた水道事業。
- これまで経験したことのない社会情勢。
- 水道事業を未来へ繋げるために、水道事業の基本方針を示す。

## 2. 水道事業ビジョン計画の背景

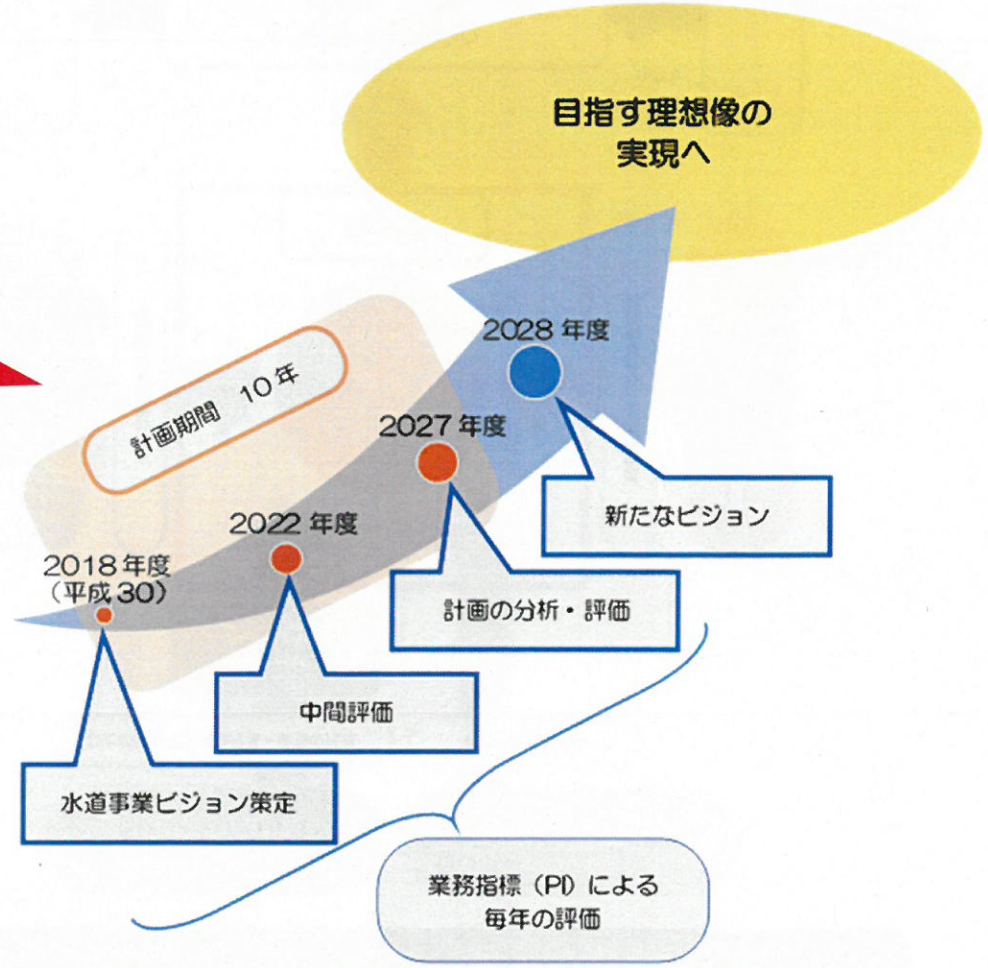


給水人口・給水量の減少を考慮した施策の必要性      危機管理対策見直しの必要性

### 将来像の提示



理想像へ向け、事業と市民一丸となった取り組み



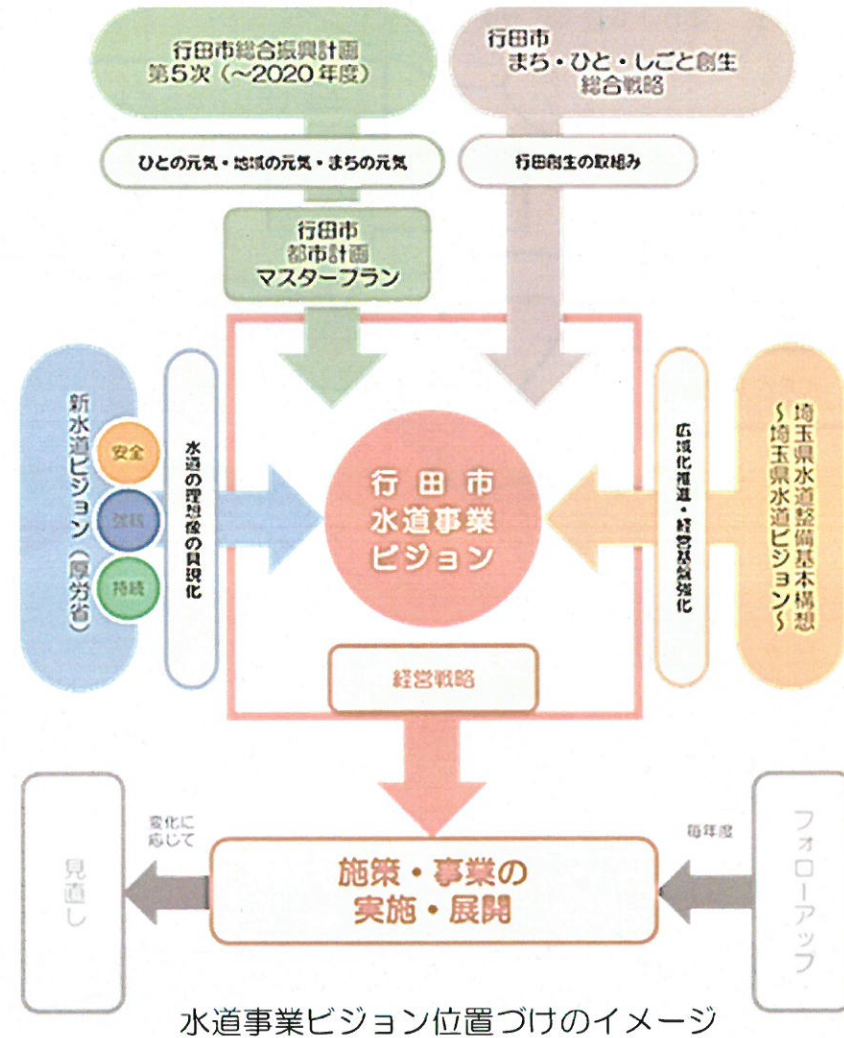
計画期間のイメージ

# 第1章 策定にあたって

## 3. 水道事業ビジョンの位置づけ

本市水道事業ビジョンは以下の上位計画の内容に即し、水道事業の理想の将来像を実現するための施策を示します。

- 第5次行田市総合振興計画（～2020年度）
- 行田市都市計画マスタープラン
- 行田市まち・ひと・しごと創生 総合戦略
- 埼玉県水道整備基本構想  
～埼玉県水道ビジョン～
- 厚生労働省 新水道ビジョン



# 第2章

# 水道事業の概要

## 1. 水道事業の沿革

### 行田市水道事業

**創設事業** 1958(昭和33)  
 計画給水人口 : 30,000人  
 計画一日最大給水量: 6,300m<sup>3</sup>/日

**第1期拡張事業** 1968(昭和43)  
 計画給水人口 : 48,000人  
 計画一日最大給水量 : 14,400m<sup>3</sup>/日

**第2期拡張事業** 1975(昭和50)  
 計画給水人口 : 62,500人  
 計画一日最大給水量: 28,750m<sup>3</sup>/日

**第3期拡張事業** 1980(昭和55)  
 計画給水人口 : 80,000人  
 計画一日最大給水量: 40,000m<sup>3</sup>/日

**第4期拡張事業** 1993(平成5)  
 計画給水人口: 93,000人  
 計画一日最大給水量: 50,100m<sup>3</sup>/日

### 南河原地区簡易水道事業

1993(平成5) **南河原創設事業**  
 計画給水人口 : 4,600人  
 計画一日最大給水量: 1,960m<sup>3</sup>/日

統合

2017  
(平成29)

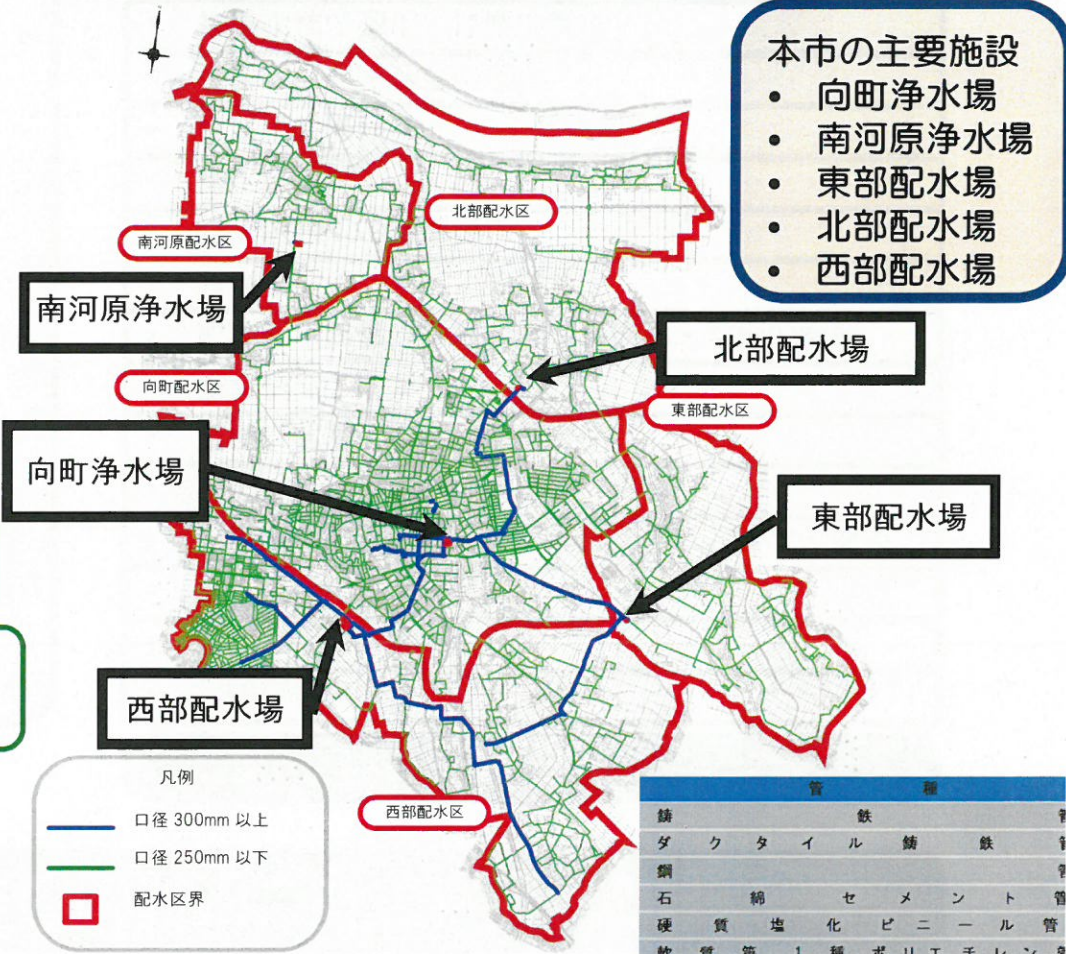
### 第4期拡張事業(変更届出)

計画給水人口 : 97,600人  
 計画一日最大給水量 : 52,060m<sup>3</sup>/日

## 2. 水道施設の概要

本市の主要施設

- 向町浄水場
- 南河原浄水場
- 東部配水場
- 北部配水場
- 西部配水場



水道施設の位置図および管網図

管種	
鑄鉄	鉄
ダクタイル	鑄鉄
鋼	
石	綿セメント
硬質塩化ビニール	管
軟質第1種ポリエチレン	
計	

# 第3章

# 水道事業の現状と課題

## カテゴリー

- 給水人口と給水量
- 自己水と県水
- 水質および  
水質管理
- 施設の状況
- 災害対策の状況

現状把握

将来の  
見通し

課  
題  
の  
抽  
出

## 課題

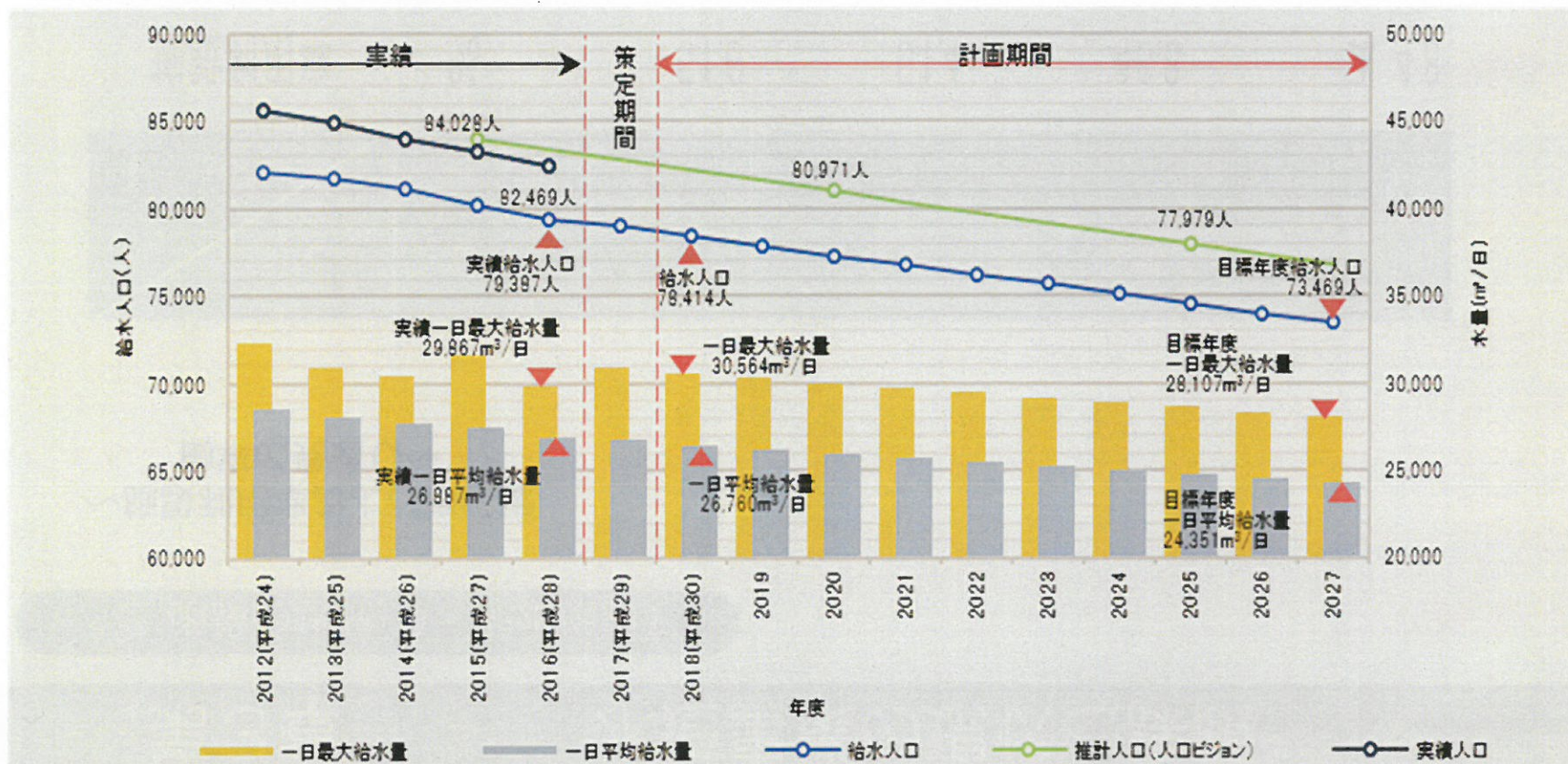
- 水需要を考慮した事業運営
- 適切な県水比率
- 県と連携した水質管理
- 安全な水道水の供給を確実にするシステムの構築
- 施設・管路・設備の老朽化
- 環境に配慮した設備の導入
- 更新需要の増大
- 応急給水資機材の備蓄拡大と保守・点検の継続
- 危機管理マニュアルの充実
- 関係機関との連携強化
- 適正な料金水準・料金体系の検討
- 広域化の検討
- 積極的な情報発信の継続
- 教育訓練の強化と技術の継承
- 官民連携の推進

# 第3章

# 水道事業の現状と課題

## 1. 給水人口と給水量

～給水人口と給水量の見通し～



## 第3章

## 水道事業の現状と課題

### 2. 施設の状況(浄・配水施設)

～施設利用率および施設稼働率の見通し～

項目	年度	単位	2016 (平成28)	2018 (平成30)	2027	増減 (対2016比)
施設利用率		%	51.6	51.4	46.8	▲ 4.8
最大稼働率		%	57.0	58.7	54.0	▲ 3.0

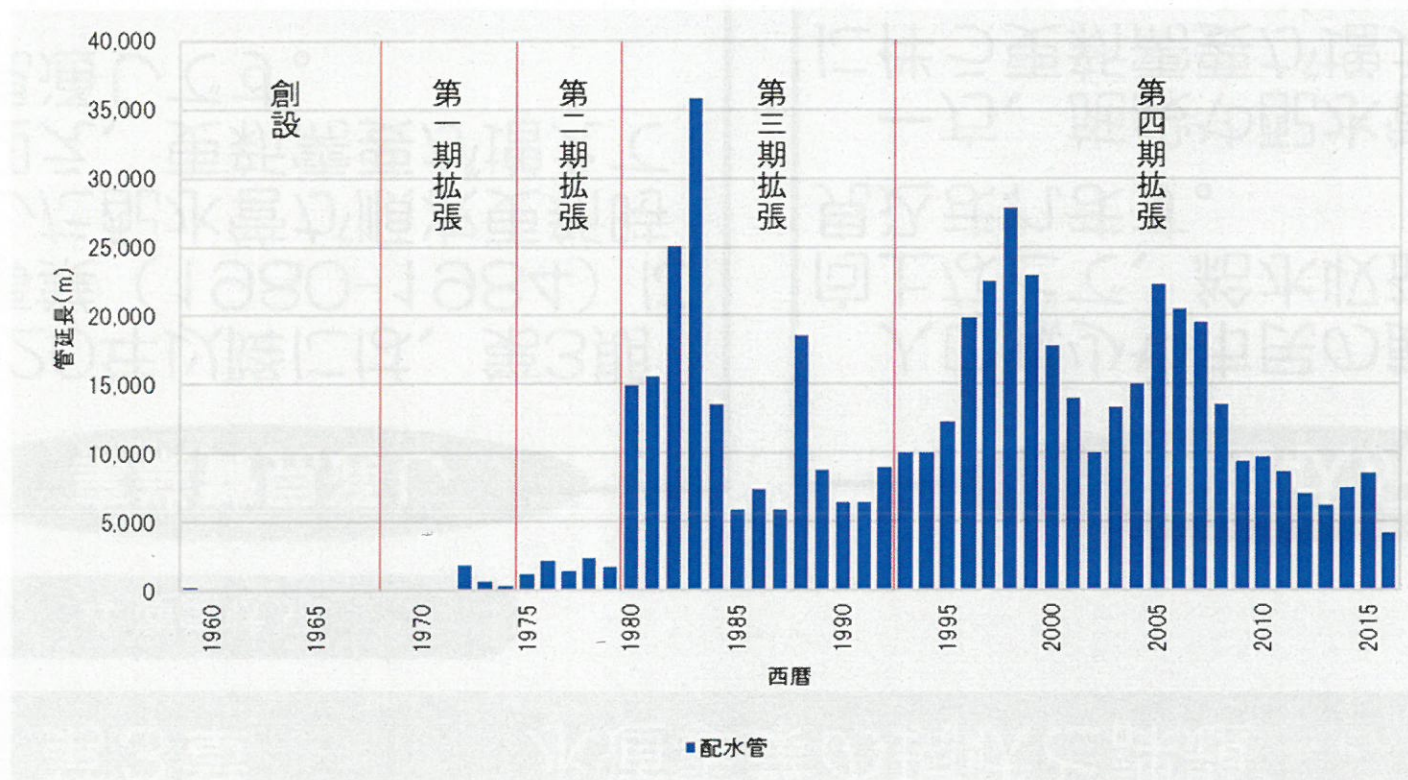


# 第3章

# 水道事業の現状と課題

## 3.施設の状況（管路）

～配水管の布設年度別延長～



## 第3章

## 水道事業の現状と課題

### 4. 運営状況

#### 事業費見通し

2020年以降には、第3期拡張事業（1980-1984）に布設した配水管が順次更新時期を迎え、更新需要が増えていく見通しです。

#### 運営状況

人口減少や市民の節水意識の向上などで、給水収益の減少が見込まれます。

一方、施設や配水管の老朽化に伴う更新需要が増えていく見込みであり、水道事業の経営状況は厳しくなる見通しです。

# 第4章

# 基本理念と理想像

## 1. 基本理念

ぎょうだの水道 みんなであゆみ  
未来につなぐ

## 2. 水道事業の理想像

新水道ビジョンにおける  
「安全」、「強靱」、「持続」  
の3つのキーワードから、水道事業が目指す理想像  
を定めました。

## 3. 水道事業の目標

あ

安全

### 安心できる水道

目標(1) 安全な水道水の供給  
安全な「おいしい水」をお届けします。

ゆ

強靱

### 揺るがない水道

目標(2) 安定供給の確保  
施設の適正管理・更新により、毎日安心して水道水が使えるように努めていきます。

目標(3) 危機管理体制の強化  
いつでもどのような時でも、水道水をお届けする体制を整えます。

み

持続

### 未来に続く水道

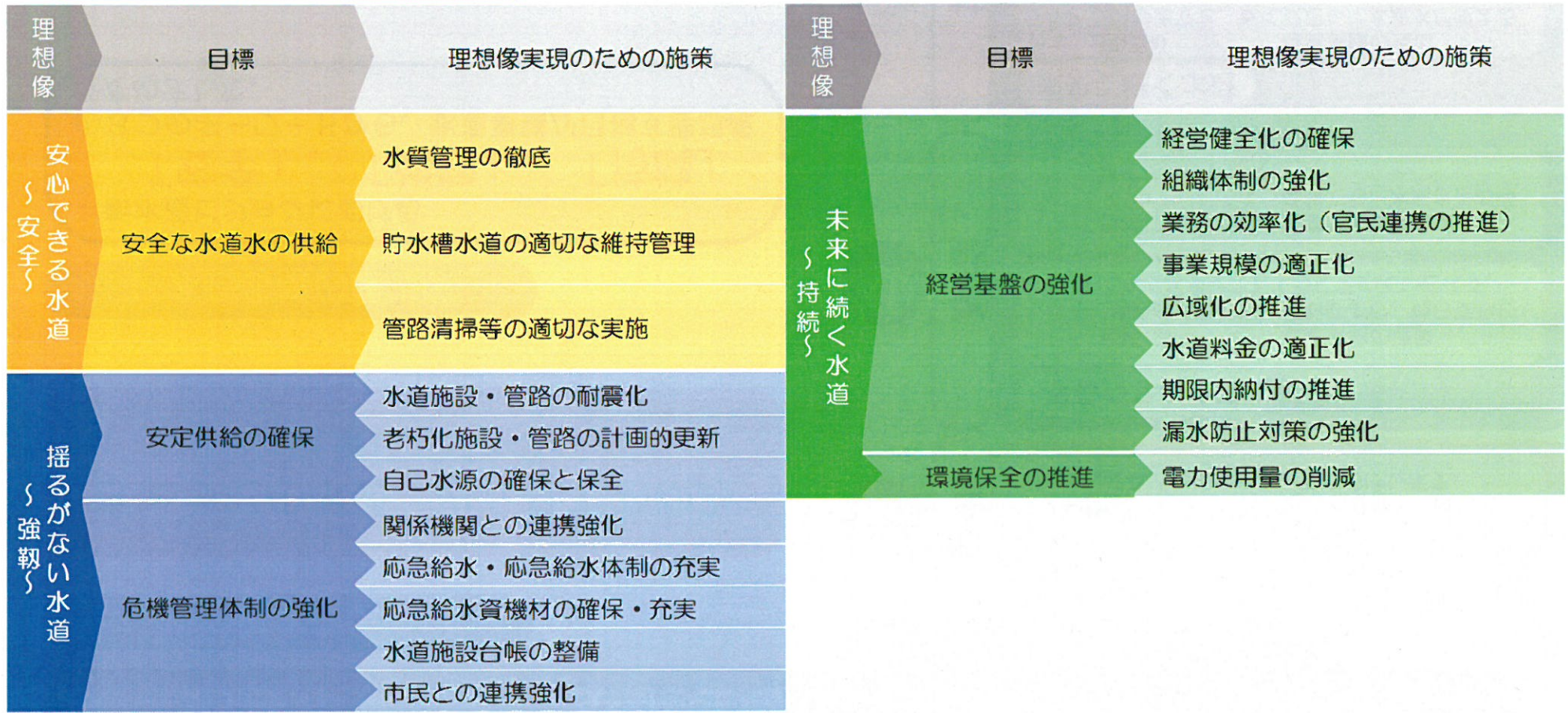
目標(4) 経営基盤の強化  
いつまでも、安く安定した水道水が使えるよう、日頃から健全な経営に努めていきます。

目標(5) 環境保全の推進  
全国の電気消費の1%が水道事業です。率先して、節電をはじめ環境にやさしい事業を推進します。

# 第5章

# 理想像実現のための施策

## 1. 施策体系



# 第6章

# フォローアップ

## 1.状況の把握

- 業務指標を用いた、毎年度の状況把握

## 2.事業の分析・評価

- 定期的な把握・分析・評価
- PDCAサイクルを活用で、事業のレベルアップ

## 3.事業の見直し

- 取り巻く環境の変化に対応する、計画の見直しを適宜実行

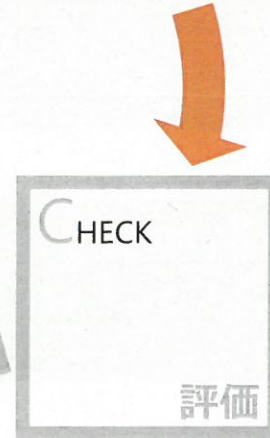
- 水道事業ビジョン策定
- 経営戦略策定



- 施策の推進
- 事業の実施



- 施策の見直し



- 進捗確認
- 分析・評価

## 今後のスケジュール

1月中旬 第2回水道事業運営審議会開催（ビジョン（素案）意見聴取）

2月 パブリックコメント実施

3月上旬 第3回水道事業運営審議会開催（ビジョン（案）諮問及び  
経営戦略（案）意見聴取）

4月 行田市水道事業ビジョン実施



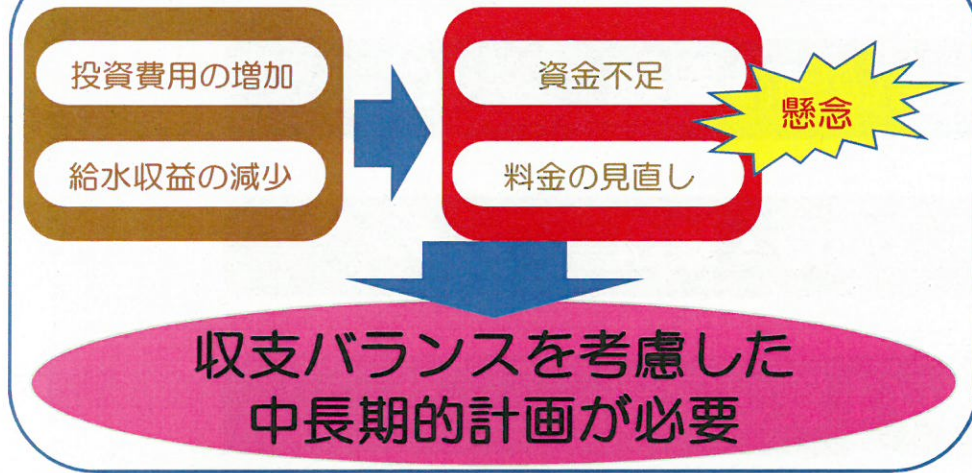
資料 2

# 行田市水道事業経営戦略の 策定について



# 行田市水道事業 経営戦略

## 1. 経営戦略策定の背景

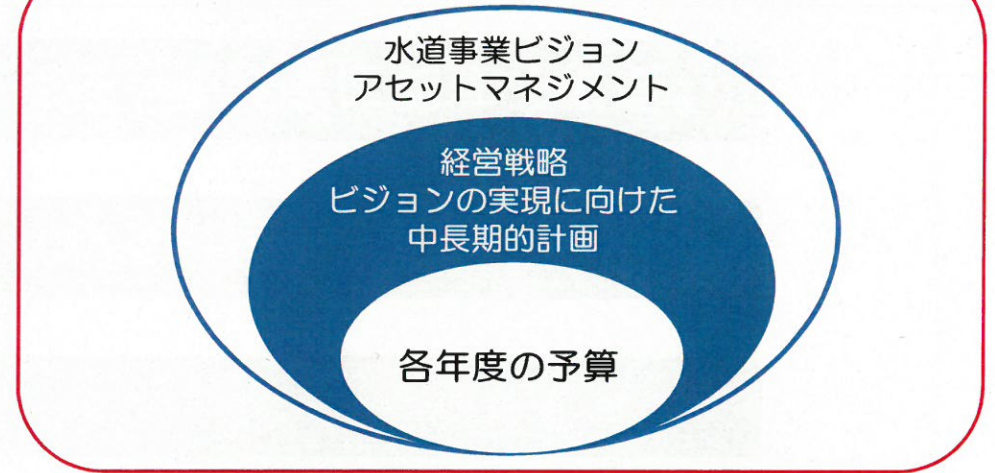


## 2. 経営戦略策定の目的

中長期的にバランスのとれた投資計画と財政計画に基づいた事業運営により経営健全化を目指す。



## 3. 経営戦略の位置づけ



## 4. 計画期間

2018(平成30)年度～2027年度  
(10年間)

- 毎年度進捗管理（モニタリング）を行った上、おおむね3年から5年ごとに見直し（ローリング）を行い、PDCAサイクルを働かせる。
- 経営戦略策定後に、経営方針に係る新たな取り組みが具現化した場合などにおいては、その内容を経営戦略に追加し、投資・財政計画に反映させる。

## 行田市水道事業経営戦略の構成（案）

1 事業概要

2 将来の事業環境

3 経営の基本方針

4 投資・財政計画（収支計画）

5 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項